

# 京都府地球温暖化対策推進計画の全体構成（案）

## I 計画の概要

- 計画の趣旨・位置づけ
- 計画の期間 2021年度から2030年度
- 計画の目標年度 2030年度
- 基準年度 2013年度

## II 現状と課題

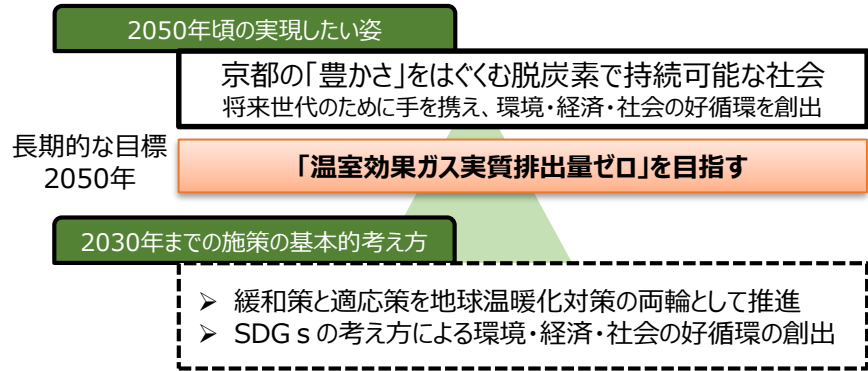
### ■ 京都府の地域特性と気候変動の現状

- ・京都府の地域特性  
中央に位置する丹波山地を境に、北部は日本海気候、南部は太平洋気候
- ・気候変動の現状  
京都における気温の上昇傾向、真夏日・熱帯夜の増加傾向、冬日の減少傾向

### ■ 京都府の地球温暖化対策の現状と課題

- ・京都府の地球温暖化対策の推進状況
- ・京都府内の温室効果ガス排出量  
電気排出係数の減少、省エネの進展、燃料転換により削減、代替フロン増加  
⇒2018年度の温室効果ガス排出量は1990年度及び前年度と比べ減少
- ・京都府の再生可能エネルギーの導入状況  
再生可能エネルギーの導入等促進プランに基づき、太陽光発電設備導入拡大  
2019年度 府内総電力需要に占める再エネの導入割合9.4%
- ・京都府の地球温暖化対策の課題  
産業・業務部門：大規模排出事業者における更なる取組の促進  
家庭部門：環境行動の更なる普及、高効率機器の導入・利用の促進  
運輸部門：公共交通や自転車・徒歩への転換、物流の効率化の加速化  
住宅、交通、まちづくりなど社会全体で脱炭素化に向けた取組が必要

## III 計画の目標及び推進の方向性



## IV 温室効果ガスの排出を削減する緩和策の推進

- 京都府内の温室効果ガス排出量の将来予測  
・2030年度の京都府内のBAU排出量は2013年度比3.5%増加  
(産業・運輸部門の排出量は減少、業務・家庭部門の排出量は増加)

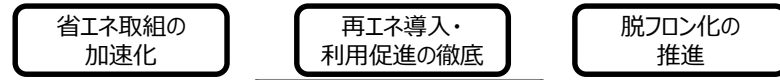
### ■ 温室効果ガスの削減目標（2030年）

温室効果ガス排出量の40%以上削減

再生可能エネルギーに係る目標指標

府内の総電力需要量に占める再エネ電力量の割合 : 35%  
府内の総電力需要量に対する府内の再エネ発電電力量の割合 : 25%

### ■ 目標達成のために実施すべき取組【施策の柱】



### 【取組の方向性】 持続可能な脱炭素社会に向けた取組の加速化

|                 |               |                           |
|-----------------|---------------|---------------------------|
| 機器・住宅の環境性能の向上   | 環境配慮型経営の促進    | 交通・物流の脱炭素化の推進             |
| 再エネの最大限の導入・需要創出 | フロン対策の推進      | 資源循環の促進                   |
| 森林吸収源対策の推進      | 新たな環境産業の育成・支援 | 脱炭素で持続可能な社会づくりを支える人づくりの推進 |

### 【対象分野】

- 事業活動（産業・業務）
- 家庭（電気機器、建築物の住宅含む）
- 森林吸収源
- 自動車交通
- 建築物（住宅以外の建築物、緑化を含む）
- 廃棄物、環境物品等
- 再生可能エネルギー
- 代替フロン
- 横断的取組

## V 気候変動の影響への適応策の推進

### ■ 適応策に関する基本的事項

- ・推進方針  
① 時間的・空間的な広がりやを考慮、幅広い主体への影響を想定、生活や事業活動の質を維持・向上  
② 適応策により、「京都らしさ」を持続・発展  
③ これまで京都が培ってきた知恵を発信
- ・適応策を展開する基本的視点  
① 長期的に考える ② 幅広く対象を想定する  
③ 同時解決を図る ④ ビジネスにつなげる  
⑤ 京都ならではの対策

### ■ 分野別の影響と適応策の進め方

- ・適応策の方向性  
① 府民、事業者等の適応策に対する意識の醸成  
② 気候変動に関する情報収集  
③ 分野に応じて効果的なアプローチで適応策を推進  
④ 適応ビジネスの推進  
⑤ 行政自らの業務活動への適応策を推進
- ・適応策の推進体制の充実・強化  
「地域気候変動適応センター」を整備

- 【7分野】
- ① 農林水産業
  - ② 水環境・水資源
  - ③ 自然生態系
  - ④ 自然災害
  - ⑤ 健康
  - ⑥ 産業・経済活動
  - ⑦ 府民生活

## VI 計画の進行管理

- ・庁内各課、関係機関と連携し、本計画、取組を推進
- ・京都府地球温暖化対策推進本部に適応策WGを設置し、部局横断的に連携し適応策推進
- ・計画策定後、概ね5年後に見直し